

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

事業名 学生指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 電話番号：0584-75-6600

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,251 千円 (前年度予算額：2,251 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,251	0	0	2,181	0	0	70	0	0
要求額	2,251	0	0	2,181	0	0	70	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

学生のキャリア形成を支援するための、進路指導、キャリア教育を行う。

また、学校保健安全法の規定に従い、定期健康診断及び環境衛生検査を行い、教育の円滑な実施とその成果の確保を図るとともに、保健室を整備し、定期健康診断・カウンセリング及び環境衛生検査等を行うことにより、学生の健康保持増進を図る。

(2) 事業内容

- ・就職指導（キャリアセミナーの開催（年4回程度）、起業セミナーの開催等）
- ・入学試験（7月、10月、2月の年3回実施）
- ・保健衛生（メンタルカウンセラーの設置（週1回）、保健室の運営）

(3) 県負担・補助率の考え方

使用料・手数料（入学金・授業料）を充当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,568	キャリアセミナー講師・学校指定医・心理カウンセラー等謝礼
費用弁償	124	キャリアセミナー講師・心理カウンセラー等旅費
業務旅費	79	大学訪問
消耗品費	117	消耗品費・救急医療薬品
印刷製本費	38	卒業証書印刷
役務費	220	学生健康診断・通信運搬費
保険料	70	学生健康診断・通信運搬費
負担金	35	学生就職連絡協議会等会費等
合計	2,251	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

引き続き使用料・手数料を主な財源として事業を継続する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・望ましい職業観や勤労観を育成するために、インターンシップや企業情報を提供し就職更なる内定率の向上を目指す。
- ・県内の地域情報や企業情報を積極的に提供し県内就職率の向上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①学生進路内定状況（就職・進学・フリーランス・自営）	65.0%	47.3%	85.0%	85.0%	—	52.5%
②県内就職内定状況	5.0%	0.1%	30.0%	30.0%	—	14.9%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>学生の進路意識の向上を図るため、年3回キャリアセミナーを開催した。また、県内就職率の向上を図るため、大垣ハローワークなど地域からの求人情報を積極的に収集し、学生に提供している。</p> <p>キャリアセミナーや企業説明会への出席率が昨年同様高く、学生の意識も高い。また、IAMASの教育が質の高い学生を多く輩出しているため、求人数も増加傾向にある。キャリア教育の成果を生かした主体的な進路選択や自己実現に結びつく活動が期待される。</p>
令和5年度	<p>学生の進路意識の向上を図るため、年3回キャリアセミナーを開催した。また、県内就職率の向上を図るため、大垣ハローワークなど地域からの求人情報を積極的に収集し、学生に提供している。</p> <p>キャリアセミナーや企業説明会への出席率が昨年同様高く、学生の意識も高い。また、IAMASの教育が質の高い学生を多く輩出しているため、求人数も増加傾向にある。キャリア教育の成果を生かした主体的な進路選択や自己実現に結びつく活動が期待される。</p>
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	表現者としての多様で高度な技術を習得し、高い能力を持つ学生の勤労意識は高い。その学生に身につけた技術や能力の活かし方を考え、新しい産業を牽引する自覚を持つ若者に育てるためには必要不可欠である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	進路内定者、進路活動中、および活動予定である者の割合が、昨年度同様高く、学生の就労意識は高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	キャリアセミナーの外部招聘講師の選出、招聘時期やセミナー内容の見直しにより、効率的な実施を行い効果の向上を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 東京周辺および京都・大阪周辺への就職を希望する学生が多いので、県内、特に大垣市周辺の企業や大垣市周辺での起業の魅力をアピールしていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内企業との連携を深め、表現者としての多様で高度な技術を習得した高い能力を持つ学生に、その技術や能力の活かし方や新しい産業を起業する手法などのキャリアセミナーを充実させる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	